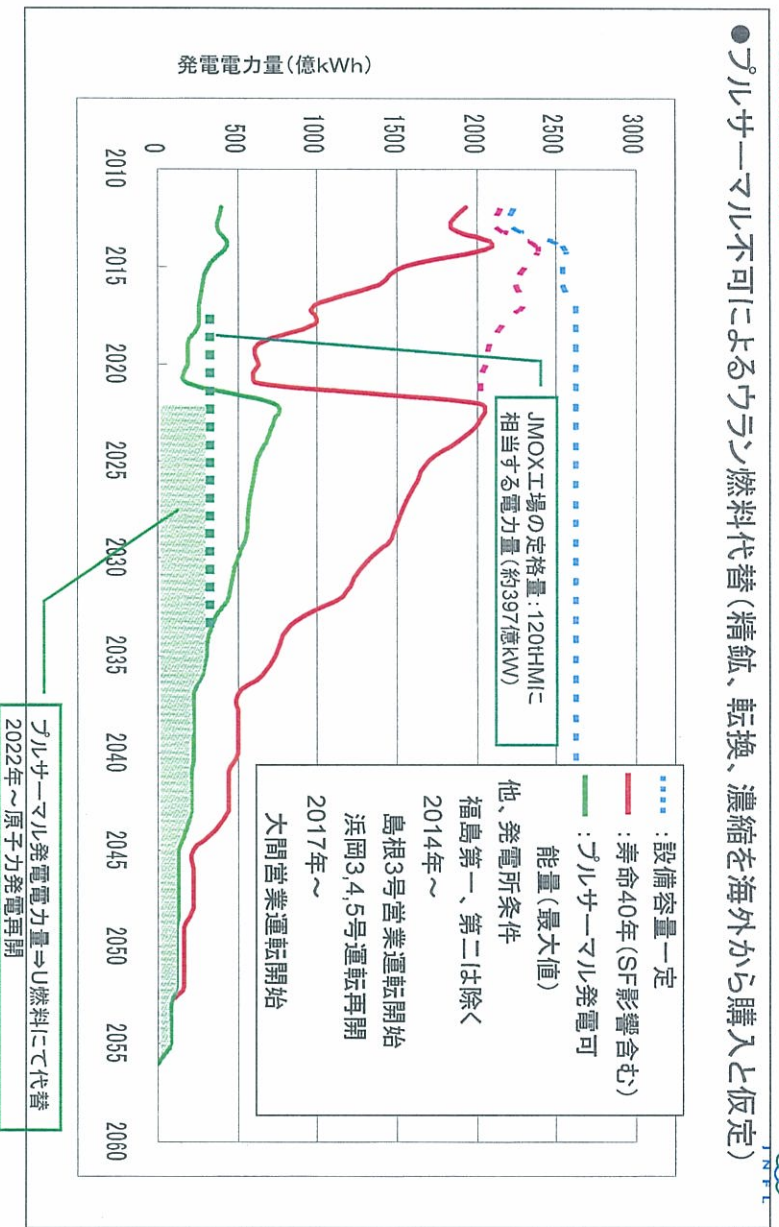


6. 国富の流出(プルサーマル中止→ウランの海外購入)

日本原燃株式会社

●プルサーマル不可によるウラン燃料代替(精鉱、転換、濃縮を海外から購入と仮定)



30

6. 国富の流出(プルサーマル中止→ウランの海外購入)

日本原燃株式会社

運転再開年度	2022年度	2027年度	計算条件
プルサーマル 発電電力量	8,558億kWh	6,570億kWh	<ul style="list-style-type: none"> 各プラントの運転期間は40年を仮定 発電所はSF満杯による停止期間を経て、中間貯蔵施設への搬出等の対策の後に運転再開し、その後のプルサーマル発電電力量を算定対象とする MOX燃料燃焼度 40,000MWD/tU 熱効率 34.5% 発電所の停止期間は10年または15年 大間はフルMOX、その他の軽水炉は1/3炉心にMOX装置するとし、その他の軽水炉発電電力量の1/3をMOX燃料によるものとする JMOX工場の定格量(120tHM)を考慮
U燃料必要量	2,297tU	1,763tU	<ul style="list-style-type: none"> U燃料燃焼度 45,000MWD/tU 熱効率 34.5%
海外流出 コスト	4,180億円	3,209億円	

31